

# 器具の取り付けかた

## 取り付ける前に

- 天井にこのような配線部品がついている場合は、器具が取り付けられます。



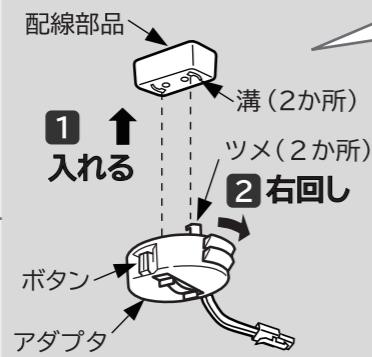
- 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。  
※工事には資格が必要です。

## アダプタの取り付け

- 1 電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ってください。  
※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

- 2 配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れてください。  
また、必ず同梱しているアダプタを使用してください。

- 3 右方向にいっぱいまで回してください。ロックが掛けられ固定されます。



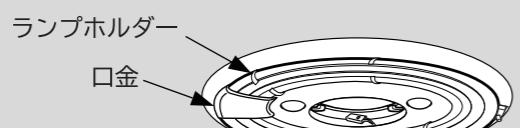
## 本体の取り付け

- 4 蛍光ランプを固定しているテープをはがしてください。

※蛍光ランプに無理な力を加えない。破損によるケガや、故障の原因となります。

- 本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない。  
※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。

- 5 蛍光ランプが確実に取り付いているか、確認してください。



## リモコンご使用上の注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。
- リモコンは必ず器具に向けて操作してください。
- リモコンと器具の間にしゃへい物があると、器具が動作しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。
- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが動作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づいてリモコン操作をしてください。
- ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。その場合は、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。

## お好みボタンの使いかた

- 蛍光ランプを設定した明るさで点灯します。
- 設定のしかた
  - 1 全灯 または お好み ボタンを押し、蛍光ランプを点灯させる

- 2 明るさ ボタンを押し、好みの明るさにする

- 3 お好み ボタンを押す(明るさ記憶)

※設定変更も、上記の手順です。

## 節電ボタンの使いかた

- その時の、蛍光ランプの点灯状態での消費電力から、約15%の消費電力を節電します(明るさも変わります)。ただし、続けて節電ボタンを押した場合、電子音は鳴りますが、さらに節電はしません。

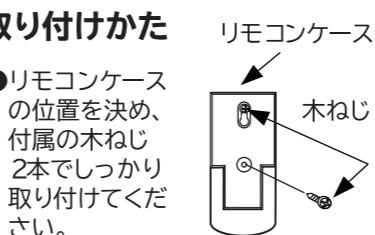
また、明るさ(明 暗)ボタンで、一番暗い時の消費電力以下にはなりません。

- 明るさと消費電力の比率は同じとは限りません。

※好み、全灯、消灯、明るさ(暗 明)、LED保安灯のボタンを押すと、節電は解除されます。ただし、明るさ(暗 明)ボタンを押した場合は、節電時の明るさからの調整となります。

## リモコンケースの使いかた

- リモコンを無くさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

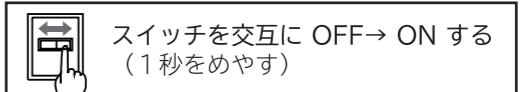


## 壁スイッチの操作

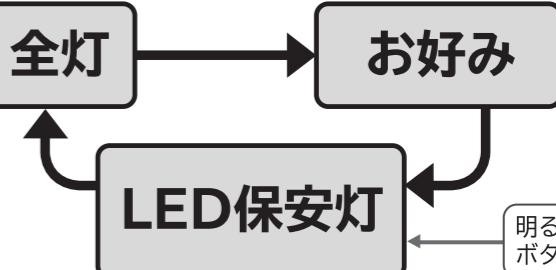
壁スイッチで次のような操作ができます。

### 点灯状態を切り替える

- 壁スイッチがONの状態で、1秒を目安にOFF → ONすることで、器具の点灯状態を切り替えることができます。ただし、1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。

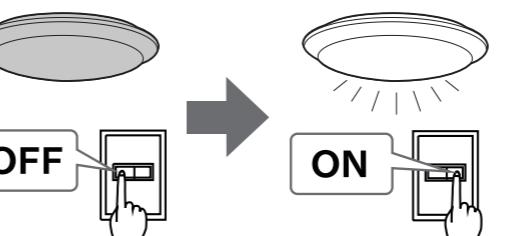


- 節電ボタン、明るさ(暗 明)ボタンで操作後、切り替え操作をすると LED保安灯に切り替わり 全灯⇒好み⇒LED保安灯と、繰り返し切り替わります。
- 節電ボタンの節電は解除されます。



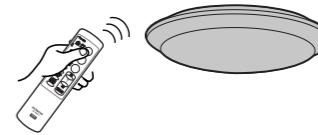
### 点灯・消灯

- 壁スイッチをOFFにして外出し、帰宅後、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯状態になります。



### 便利な使いかた

- リモコンで消灯（壁スイッチはONのまま）



- OFFにした後、1秒めやすに再度ON



全灯100%点灯

### ご注意

- 壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態の切り替えはできません。